

技術審査証明書



BL 審査証明-042

技術名称：S-HND SK-NEO工法
油圧によって拡翼管理される
拡底バケットを用いたアースドリル式拡底杭工法

(開発の趣旨)

近年、建築物の高層化に伴い、杭に負担させる軸力（押込み及び引抜き方向）が増加傾向にあり、杭に要求される支持力性能は高まっている。一方で、建築コストの削減、環境負荷低減も要求されている。

そこで、本技術は、場所打ちコンクリート杭の先端部を任意の寸法で拡大させることにより、必要な支持力を得るために最適な杭軸部径と拡底部径を設定し、かつ、掘削土及び打設するコンクリート量を削減することを目的に開発されたものである。

(開発の目標)

- 適用範囲（軸部径：1,000mmから3,500mm、拡底部有効径（拡底部施工径-100mm）：1,100mmから4,600mm、拡底部施工径：1,200mmから4,700mm、最大拡底率：4.00、最大施工深さ：65.0m）において、S-HND SK-NEO工法が適切に施工できること
- S-HND SK-NEO工法における施工マニュアルが適切なものであること

一般財団法人ベターリビング建設技術審査証明事業（住宅等関連技術）実施要領に基づき、依頼のあった上記の「S-HND SK-NEO工法（油圧によって拡翼管理される拡底バケットを用いたアースドリル式拡底杭工法）」の技術内容について、下記のとおり開発目標を達成していることを証明する。

2019年1月17日（初回発行）

2024年1月9日（第1回変更）

建設技術審査証明協議会会員



一般財団法人 ベターリビング

理事長 眞鍋



記

1. 技術審査の結果

本技術について、前述の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査された結果は、以下のとおりである。

- 「S-HND SK-NEO工法 施工指針 2024年1月版」（以下、施工指針）に従い、最大拡底部径、最大施工深さ及び最大コンクリート強度とした場合等、適用範囲を考慮して実施された種々の施工試験の結果、一連の施工が滞りなく完了したこと及び当該施工試験において、施工指針に示された施工管理項目が所定の管理値を満足することが確認されたことから、適用範囲においてS-HND SK-NEO工法は適切に施工できるものと判断される。
- S-HND SK-NEO工法により施工された杭の鉛直支持力及び引抜き抵抗力を確保するために必要であると考えられる管理項目及び管理値が施工指針に規定されていることが確認されている。また、支持層への必要根入れ深さが確保できない場合等、設計図書通りの施工が困難であると判断された場合には、佐藤工業（株）*及び（株）あい設計は工事監理者に、雄正工業（株）及びトーワドリル工業（株）は建設業者（元請け）に、それぞれ報告することが施工指針に規定されている。さらに、当該施工指針に従い施工された杭の拡底部は、所定の形状・寸法と強度を有していたことが、掘削調査及びコア採取試験及びコア供試体の圧縮強度試験により確認されている。これらにより、施工指針は、適切なものと判断される。
*佐藤工業（株）が建設業者（元請け）となる工事に限る。

2. 技術審査の前提

提出された資料には、事実に反する記載がないものとする。

3. 技術審査の範囲

審査証明は、審査証明依頼者により示された開発の趣旨、開発の目標に対して、審査証明の方法により確認した範囲とする。

4. 技術審査の詳細

（別添）

5. 審査証明の有効期限

審査証明日～2029年1月16日

6. 依頼者名及び住所

佐藤工業株式会社（東京都中央区日本橋本町4-12-19）

株式会社あい設計東京支社（東京都江東区亀戸2-26-10 立花亀戸ビル4F）

雄正工業株式会社（東京都新宿区山吹町130 尾張屋ビル5F）

トーワドリル工業株式会社（東京都世田谷区成城6-5-25 第一住野ビル506号）